

2019 年度 数学教育学会 夏季研究会（関西エリア）2 次案内

竹歳賢一（夏季研究会実行委員長・大阪大谷大学）

2019 年度数学教育学会夏季研究会（関西エリア）を、大阪大谷大学ハルカスキャンパスにおいて開催いたします。ふるってご参加ください。

1. 日程

2019 年 6 月 16 日（日） 10:00～17:00

2. 会場

大阪大谷大学ハルカスキャンパス

〒545-6023

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43

あべのハルカス 23F

<http://www.osaka-ohtani.ac.jp/harukasu/access.html>

天王寺駅から

あべのハルカス地下 1 階、近鉄百貨店入口前のオフィスエントランスより、シャトルエレベーターで 17 階へ。

17 階で一度降り、低層用（17-25F）オフィスエレベーターに乗り換えて 23 階へ。

3. 実行委員会

委員長：竹歳賢一（大阪大谷大学）

委員：黒田恭史（京都教育大学）、富永雅（大阪教育大学）、二澤善紀（佛教大学）

顧問：鈴木正彦（大阪教育大学名誉教授）

4. プログラム

一般発表① 10:00～12:00（発表 15 分、質疑 5 分）

10:00～10:20 Jupyter Notebook を活用したアクティブラーニングへのトライアル — 暗号技術教育を例に —

横山重俊（群馬大学/国立情報学研究所）、浜元信州（群馬大学）、政谷好伸（国立情報学研究所）

10:20～10:40 「自律的学習者」を育てるための実践研究 — 「わからなさの共有」を通して —
吉岡拓也（神戸市立摩耶兵庫高等学校）

10:40～11:00 学校数学の数を構造的に捉える — R-module の考え方を利用して —
原嶋悠嗣（群馬県立勢多農林高等学校）

11:00～11:20 中條澄清の算術指導 — 教師ノ為メ「0ニ付テ」（『教育報知』）の分析（その 2） —
西川恭一（京都文教短期大学）

11:20～11:40 立体図形課題遂行時における学習者の思考過程の分析 — 脳活動計測を通して —
木下卓海（京都教育大学大学院生）、岡本尚子（立命館大学）、黒田恭史（京都教育大学）

11:40～12:00 小学校における 1 次関数の指導についての考察 — 数学的表記における規則性の関連・統合を通して —

中村真人（堺市教育委員会）、富永雅（大阪教育大学）

一般発表② 13:00～15:00（発表 15 分、質疑 5 分）

13:00～13:20 小学校算数「同種の二つの量の割合」指導について

渡邊耕太（大阪教育大学大学院生）、富永雅（大阪教育大学）

13:20～13:40 プログラミング学習による思考力を育成するための算数・数学教育の教材研究 — アンブレラグドの思考・表現ツールの開発・実践 —

中村高康（岐阜大学大学院生）、河崎哲嗣（岐阜大学）

13:40～14:00 フェルミ推定と数学的モデリング（2）ードイツの学生に対する調査結果からー

谷陽良（京都市立朱雀中学校），柳本哲（京都教育大学），河崎哲嗣（岐阜大学），岡本英通（垂井町立不破中学校）

14:00～14:20 小学校第3学年を対象とした□を用いた式の認識に関する研究 ー方程式・不等式の相互関係に着目してー

津田真秀（京都教育大学大学附属京都小中学校），黒田恭史（京都教育大学）

14:20～14:40 幼稚園教育要領の元年改訂に至る調査研究の史的考察 ー「環境による教育」の普及と数学教育ー

太田直樹（福山市立大学）

14:40～15:00 数学教育におけるSTEAM教材開発 ーカム機構を用いた教材開発と実践に向けてー

加藤浩行（岐阜大学大学院生），紀平武宏（京都市立堀川高等学校），河崎哲嗣（岐阜大学）

シンポジウム 15:10～17:00

テーマ：『幼児期における数学教育の実践とは何かを問う』

コーディネーター

・竹歳賢一（大阪大谷大学）

「幼児期における数学教育の実践の課題と展望」

シンポジスト

・渡邊伸樹（関西学院大学）

「幼児期における数学教育の研究と実践の動向と展望」

・岡部恭幸（神戸大学大学院，神戸大学附属幼稚園・小学校長）、中橋葵（神戸大学大学院生）

「幼児期における数学教育の教育内容・指導法について」

・山田千枝子（御幸幼稚園長、同志社女子大非常勤講師）

「幼児教育における問題点について」

5. 会費

一般 2,000 円 学生 500 円

6. 連絡先

大阪大谷大学 教育学部 竹歳賢一

E-mail : taketoke@osaka-ohtani.ac.jp